

入会者募集中!

法令順守のもと健全な業界を目指して (社)全国石材施工協会が発足



代表理事に就任した井比宏育氏

元請けの石材店など他社から委託されて施工業務をおこなう法人または個人で組織する(社)全国石材施工協会(井比宏育代表理事)がこのほど発足し、来年一月に設立総会を開催すべく準備を進めている。設立の目的は「わが国の石材施工における技術の向上、技術の基盤化、そして石材業界の充実と発展に資すること」。千葉・

神奈川県・愛知・岡山の施工業者五名が理事となっており、現在、全国より施工会員(協会員)及び賛助会員の入会を呼びかけている。

具体的にはどのような活動をするのか。同会では、以下の八つを挙げている。

① 施工基盤の作成

手抜き工事はもちろん、知識不足等による不適切な施工も「お墓離れ」を加速させる要因の一つとなる。施工方法や材料は、個々の企業や地域によって異なるが、業界の共通認識として最低限必要な施工基盤を作成し、施工に対する安全性(安心)と信頼性を確保する。

② 各種資格取得の推奨

施工業者の技術力と信頼性を高めるため、業務に必要とされる各種資格取得を推奨する。ま

た、法令順守による安全作業を実施し、石材店が安心して業務を依頼できるようにする。

たとえば、施工現場で発生する不要石材(産業廃棄物)の処分を石材店(排出事業者)から依頼された場合、施工業者はその運搬作業に必要な「収集運搬業者」の許可資格を都道府県ごとに取得した上で、マニフェスト(産業廃棄物管理票)を確実に返送してくれる信頼できる業者に中間処理または最終処分を委託することが求められる。

「古い墓石の不法投棄がメディア等で報道されたりしますが、あれを見た人は、お墓の大切さや仏事の有難さを理解できるでしょうか。最近はお墓の改修・解体作業に際して、お客様からその処分方法を聞かれるケースも増えていま



産業廃棄物を適切に処理（処分）することは、排出事業者として当然の務め。元請けの石材店が排出事業者となるなら、その下請け業者は、業務上必要となる「収集運搬業」の許可資格を取得し、適切な処分が求められる

す。その際、マニフェストでしっかり管理していることを説明すれば、お客様も安心して仕事を頼めるでしょう」

と井比代表は説明する。

また、入会した協会員には社会保険に加入するよう積極的に呼びかけることにしている。仮に、下請けの施工現場で通行人を巻き込むような死傷事故が発生した場合、その責任は元請けの石材店が負うことになり、結果として取引先

に迷惑を掛けることになるからだ。

すでに建設業界では「事業者として当然の義務」と見做されていて（厚生年金保険法では、違反行為に対して「六カ月以下の懲役又は五十万円以下の罰金」という罰則も定められている）、社会保険に加入していないと建設業の新規許可・更新がもらえなかつたり、ゼネコン等も出入りの下請け業者にその加入状況を確認することが通例となつている。こうした流れを受けて、大手の

霊園販売業者でも下請けの施工業者に社会保険の加入を促すケースが見られるという。

③ 全国規模のネットワーク化

全国規模のネットワークを確立することで、自社の商圏以外でも墓地の改葬や解体、改修などをスムーズに受注できる体制を整える。また、繁忙期の業務・人材支援等にも対応する。

④ 各種代行サービスの提供

墓石工事だけでなく、納骨やお墓参り、お墓掃除等の代行業務にも対応する。これら業務提携によって、協会員の仕事の幅を広げることができるという。

⑤ 共同購入によるコストダウン

墓石施工に必要な資材や機材、建機、消耗品等を、本協会が取りまとめてメーカー・商社から仕入れることで協会員価格で提供する。

⑥ 技術・商品等の開発

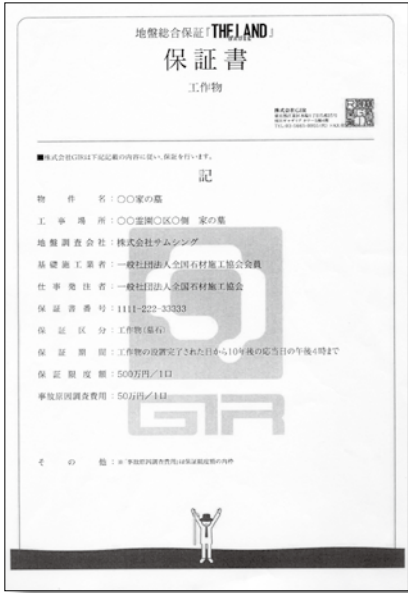
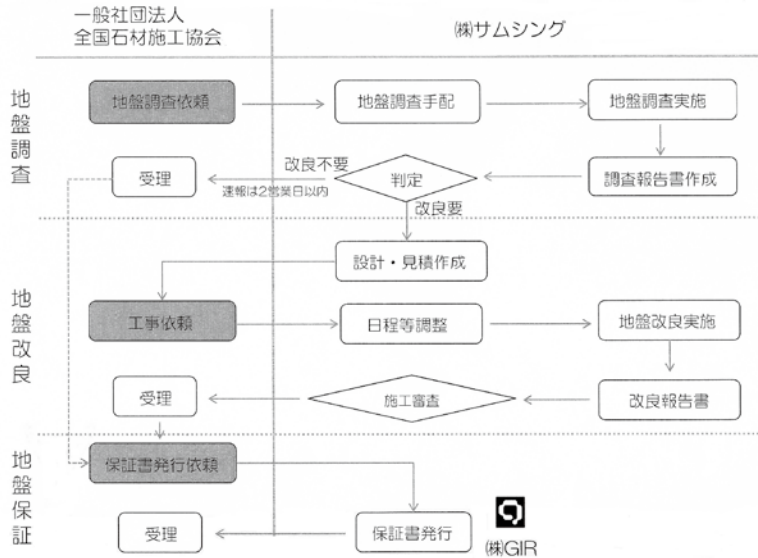
メーカー・商社等の協力を得ながら、地盤保障や免震施工などの技術開発をおこない、全国に発信する。

すでに地盤調査会社(株)サムシング（本社＝東京都江東区、ジャスタック上場）との業務提携により地盤総合保証サービス『ザ・ランド・パベル』の運用を始めることにしている（次頁参照）。このサービスを石材店を通じて提供できることは、協会員にとっても大きなメリットとなる。保証対象は「墓石」となり、保証期間は設置完了日から十年間、保証限度額は一事故五百万円となっている。

⑦ 協会認定資格の発行

団体・メーカー・商社等の監修による協会認定資格を発行し、適切な施工技術の確立と普及を目指す。現在、「アンカーボルト」「墓石の免震・耐震」「接着剤」「墓石クリーニング」「樹脂舗装」の各施工技師の資格発行が検討されている。

地盤総合保証サービス「ザ・ランド・バベル」の業務の流れ



保証書の見本

⑧その他

地震や津波など何らかの自然災害が発生した場合、その被災地での復興支援活動も積極的にこなう。

——以上。

入会希望者は、入会申込書を協会事務局に提出し、理事面接・承認後、正式な入会となる。施工会員（協会員）・賛助会員とともに、入会金三万円、年会費三万六千円となっている。

「以前ある霊園で、不要になった石材を四トントラックに積めるだけ積んで一万円処分するという怪しい業者が入りしていました。正規の産廃処理業者ではとても受けられない金額ですが、そこで引き取った石材はどこに運び、どう処分されたのでしょうか。もしそれが不法投棄されていたら、依頼した石材店も『処分料を払ったんだから、その後』のことは知らない』では済まされません。企業としてのモラルと責任が問われます。我々の労働環境も含め、全てにお

いて、法令順守のもと適切な改善を進めていく必要があります。それが健全な業界を作り、お墓参りという日本の伝統文化を守ることにつながります。当協会は『聖域で働く者』の手下となるような活動し、そのような問題解決に率先して取り組んでいきます」

と井比代表は述べる。

なお、本協会は、以下の五名が理事として名を連ねる。入会等に関する詳細は、協会事務局または各社へお問い合わせのこと。

- 代表理事 井比宏育（千葉県、(株)井比石材工業）
- 理事 湯浅誠（千葉県、(有)誠石材工業）
- 同 片野由次（神奈川県、カタノ石材(有)）
- 同 中山隼人（愛知県、(株)テクニカ）
- 同 西山昌孝（岡山県、(有)西山石芸）

※各氏の役職はいずれも代表取締役

◎(社)全国石材施工協会・事務局

千葉県松戸市大橋130
 TEL047-711-5388
 FAX047-413-0514
 Eメール = info@nss-stone.org
 URL = http://nss-stone.org